

～ 溝上慎一 と大学教育について考える ～ 「教学マネジメント」実践事例セミナー 第4回

教育目標の明確化、アセスメント開発から能力育成まで
～看護師に求められる能力と評価指標開発、教育モデルの確立を目指して～

(主催) 溝上研究室・リアセックキャリア総合研究所

日時 2022年12月16日(金) 17:00～18:30

定員 500名
※申込先着順

開催方法 オンライン配信
(Zoomウェビナー)

参加対象 大学・短期大学等 教職員
高校・高等専門学校

参加費 無料

セミナー企画趣旨・主催者ご挨拶

ご好評につき、第4回「教学マネジメント」実践事例セミナーの開催に至りました。前回セミナーにご参加いただいた方のアンケート回答から、『学修成果の可視化』の関心度の高さと同時に『学修成果可視化後の教育・育成』についての関心も多く寄せられました。

『評価と育成』については、教育目標が明確である看護分野で先進的な事例が見られています。今回は問題発見・解決能力を育成するIBL(Inquiry Based Learning)教育の実践・改善に取り組まれている奈良学園大学西菌先生をお招きし、評価指標開発から教育改善方法の検討・実践についてまでお話を頂きます。

本セミナーが各大学・短期大学等における教学マネジメントの在り方を考え、今後の高等教育の在り方についての示唆を提供する場となることを祈念しております。



学校法人桐蔭学園 理事長
桐蔭横浜大学 教授
溝上 慎一 氏

▼当日のタイムスケジュール・事例発表概要

- 17:00～17:10(10分) 開会・溝上慎一によるオープニングセッション
- 17:10～17:40(30分) 事例発表
- 17:40～18:10(30分) 溝上慎一による事例発表への講評・質疑応答
- 18:10～18:20(10分) 溝上慎一による解説・まとめ(クロージング)
- 18:20～18:30(10分) リアセックキャリア総合研究所からのお知らせ

■教育目標『看護師に求められるプロフェッショナルコンピテンシー』の明確化

- 看護師へのインタビュー調査、アンケートによる情報収集
- 有識者委員会での検討・能力要件の明確化

■『看護プロフェッショナルコンピテンシー』評価指標開発

- 看護実践能力の評価指標、アセスメントテスト(施行版)の開発・検証

■IBL(Inquiry Based Learning)教育の効果検証と進化

- 教育改善方法の検討、個人の能力の可視化とフィードバックによる自己成長促進

事例発表者



奈良学園大学
保健医療学部 看護学科
教授 西菌 貞子 氏

▼お申し込み方法

■下記URL、またはQRコードからアクセスの上、専用フォームからお申込みください。

<http://bit.ly/3tY1kb3>



「教学マネジメント」実践事例セミナーに関するお問合せ先
株式会社リアセック info@riasec.co.jp

